

(提言案)

令和 6 年 12 月 ● 日
保健医療情報標準化会議

新たに厚生労働省において保健医療情報分野の標準規格として認めるべき規格について

保健医療情報標準化会議においては、保健医療情報分野における各種規格等の標準化や医療情報システムの相互運用性等への対応を検討しているところである。

今般、新たに厚生労働省において保健医療情報分野の標準規格として認めるべき規格（以下「厚生労働省標準規格」という。）として、以下の規格について合意が得られたことから、厚生労働省に提言を行うものである。

- HS040 製造業者/サービス事業者による医療情報セキュリティ開示書」ガイド
- HS041 透析情報標準 HL7 FHIR 記述仕様
- HS042 個別医薬品コード（YJ コード）リスト
- HS043 トークンを用いたクラウド型情報交換技術仕様

※名称は、医療情報標準化指針（医療情報標準化推進協議会）における名称を使用。

厚生労働省においては、各種補助事業等や諸施策において、引き続き、厚生労働省標準規格の実装を前提とし、関係省庁、関係団体とも連携の上で、厚生労働省標準規格の一層の普及啓発を図るべきである。

【参考】現在、厚生労働省標準規格として認められている規格

- HS001 医薬品 HOT コードマスター
- HS005 ICD10 対応標準病名マスター
- HS007 患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書（患者への情報提供）
- HS008 診療情報提供書（電子紹介状）
- HS009 IHE 統合プロファイル「可搬型医用画像」およびその運用指針
- HS011 医療におけるデジタル画像と通信（DICOM）
- HS012 JAHIS 臨床検査データ交換規約
- HS013 標準歯科病名マスター
- HS014 臨床検査マスター
- HS016 JAHIS 放射線データ交換規約
- HS017 HIS, RIS, PACS, モダリティ間予約, 会計, 照射録情報連携 指針(JJ1017 指針)
- HS022 JAHIS 処方データ交換規約
- HS024 看護実践用語標準マスター
- HS026 SS-MIX2 ストレージ仕様書および構築ガイドライン
- HS027 処方・注射オーダー標準用法規格
- HS028 ISO 22077-1:2015
保健医療情報－医用波形フォーマット－パート 1：符号化規則
- HS031 地域医療連携における情報連携基盤技術仕様
- HS030 データ入力用書式取得・提出に関する仕様（RFD）
- HS032 HL7 CDA に基づく退院時サマリー規約

(提言案)

- HS033 標準菌式コード仕様
- HS034 口腔診査情報標準コード仕様
- HS035 医療放射線被ばく管理統合プロファイル
- HS036 処方情報 HL7 FHIR 記述仕様
- HS037 健康診断結果報告書 HL7 FHIR 記述仕様
- HS038 診療情報提供書 HL7 FHIR 記述仕様
- HS039 退院時サマリーHL7 FHIR 記述仕様

計 26 規格